2015年1月5日
日鉄日立システムエンジニアリング株式会社
代表取締役社長　宮田 收

2015年社長年頭挨拶（当社社内報掲載）

明けましておめでとうございます。
皆さんご家族とともに寿ぎの新年を迎えられたことと思います。

一方、東日本大震災については、既に四年近い年月が流れました。昨年は三陸鉄道が全線で運行を再開するなど明るい話題もありましたが、今なお多くの方が不自由な暮らしの中で、復興に向けて懸命な努力を続けておられます。一日も早く活気に溢れる生活が戻ることをお祈りします。

さて、少し昨年を振り返ってみましょう。
政治の面では、集団的自衛権の行使を認める憲法解釈変更の閣議決定や解散・総選挙と、国内政治は大きな動きが続きました。また国際政治ではウクライナ危機、「イスラム国」の拡大など、米国の指導力低下とパワー・ポリティックスが表面化した一年であったように感じます。
経済の面では四月に消費税が上がった反動が続き、七～九月のGDP速報値が対前期マイナスになるなど力強さに欠ける展開となりました。アベノミクスで株高・円安が進み、心理的には明るくなったものの、構造改革の停滞からか一時期の昂揚感が薄らいでいった一年だったと思います。
また、社会面ではSTAP細胞の発表と撤回といった残念なこともありましたが、富岡製糸場の世界文化遺産登録、和紙の無形文化遺産登録、テニスの錦織選手の大ブレーク、ノーベル物理学賞での日本人三人の受賞など明るい話題も数多くありました。

翻って我々の情報サービス産業ですが、まずまず良い年であったと思います。JISAが四半期ごとに発表する売上高DI調査でも、昨年は全ての四半期において明るい状態が続きました。当社も幸い昨年度は売上高で過去最高を記録することができましたし、また、本社オフィスの拡張も終了し、新しい船出となりました。これもお客様からのご愛顧、社員の皆さんの献身的な努力、パートナー会社の皆さんのお力添えの賜物であり、心より御礼を申し上げたいと思います。

さて、今年ですが、多くの不透明要素があるものの、今の明るさが続くことを期待したいと思います。
一昨年から「高く、強く、健全に」を掲げてきましたが、今年もこれを継続しつつ、併せて、これまでにない業容の会社となっても健全な成長を続けられるよう、効率的に業務を遂行する器の整備と新たな事業領域の開拓にも力を注ぎたいと思います。

すなわち、これまでの
〇高い目標を掲げて成長を目指す
〇ＮＨＳならではの付加価値を徹底的に追求して強いビジネスモデルを作る
〇緊張感がありつつも、メリハリがあり、活性化された健全な職場を作る
に加えて、
〇採用や教育活動の強化
〇業務システムの利便性向上などの業務の効率化
〇新規ビジネスの推進力強化
などにも取り組んでいきたいと思います。
社員の皆さん一人ひとりの創意工夫と意欲で、より良い会社にしていきましょう。

今年は未年。羊というと、おとなしくて、癒されるイメージがあります。漢字でも「羊」は「美」、「善」、「祥」などの字と繋がっていると言われます。穏やかに、真っ直ぐ前を向いて歩んでいく年としたいと思います。
皆さんにとっても、またご家族の皆さんにとっても、今年が健康で活力に溢れ、幸せな一年になりますよう心からお祈りいたします。

以　上